

平成16年度東北海区海況予報 第5号

平成17年2月22日

独立行政法人水産総合研究センター 北海道区水産研究所

東北区水産研究所

<<今後の見通し(2005年2~4月)>>

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並(36°30'N~37°30'N)で推移する。
- (2)黒潮系暖水の北限位置は、近海でやや南偏で推移する。
- (3)三陸沖の暖水塊は北東方向へ移動する。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、かなり南偏(37°Nまで)で推移する。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並~やや強勢(142°15'E付近まで)で推移する。

《海況の経過(2004年11月~2005年1月)の特徴》

- (1)近海の黒潮の北限位置は、平年並(36°40'N~37°N)で推移した。
- (2)三陸沖では、11月に暖水塊から変遷した暖水域が、1月に暖水塊になった。
- (3)親潮第1分枝の南限は、11月平年並(41°20'N)から、1月かなり南偏(38°30'N)になった。
- (4)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、11月から12月は強勢であったが、1月には平年並となった。
- (5)表面水温は、11月以降東北海区以北で平年より高めであったが、1月に親潮域を中心に低めとなった。

《現況(2005年1月下旬~2月中旬)の特徴》

- (1)近海の黒潮の北限位置は、やや南偏(36°N)。
- (2)暖水塊が三陸沖約350kmにある。
- (3)常磐北部沖合に親潮第1分枝から連なる冷水域がある。
- (4)親潮第1分枝の張り出しは、やや南偏である(38°40'N)。
- (5)津軽暖流の下北半島東方への張り出しは、平年並である(142°20'E)。

注：現況および今後の見通しは図を参照のこと。

「近海」は146°E以西、「沖合」は146°E以东を表す。

* 表面水温・人工衛星情報による